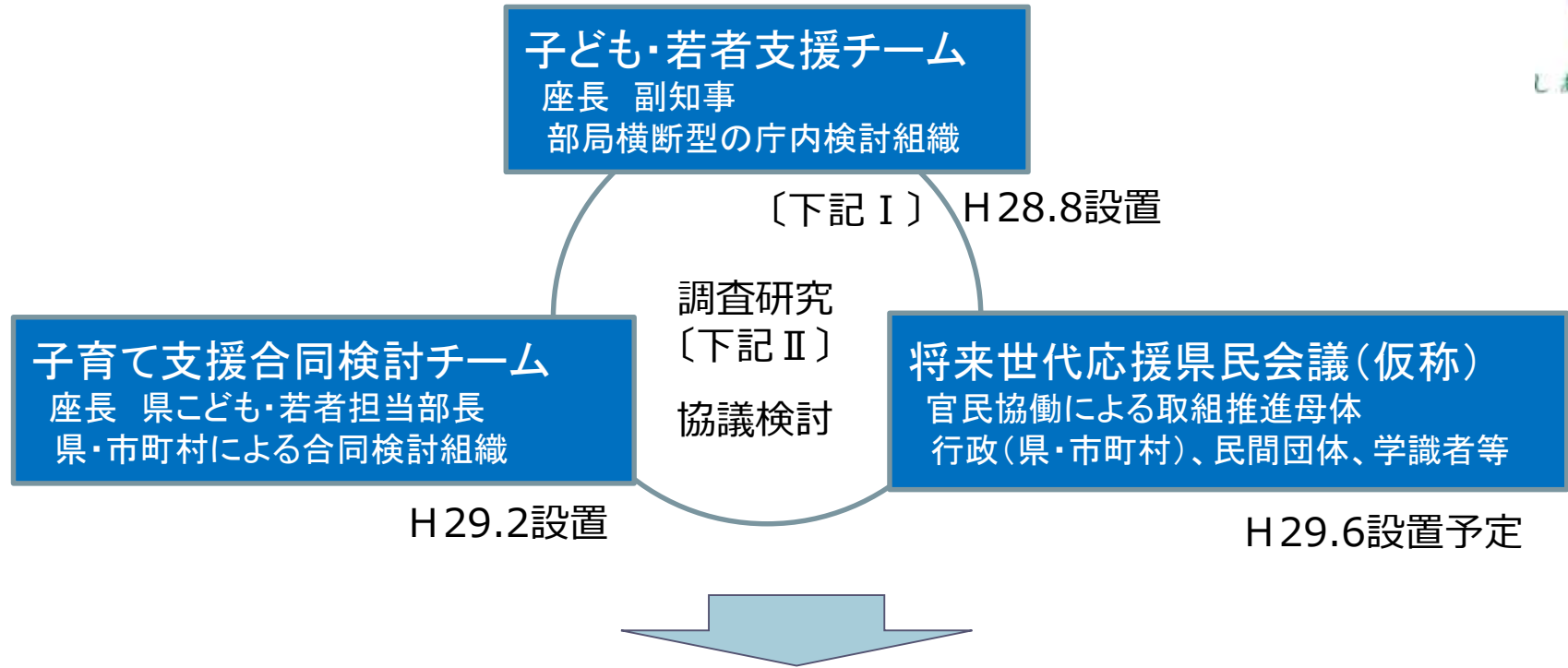


# 子ども・若者支援に関する総合的な計画等の策定体制



H30.3 新たな子ども・若者支援に関する総合的な計画の策定  
子育て支援戦略及び県として取り組む具体的な施策をとりまとめ



# I 子ども・若者支援チームの検討

区 分	検 討 課 題
1 子育ての経済的負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育費の負担軽減</li> <li>○子どもの医療費 など</li> </ul>
2 横の連携（制度間、 県・市町村、官民等）による支援対象者の早期把握、相談・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児教育の充実</li> <li>○発達障がい者、不登校、ひきこもり支援</li> <li>○ライフステージに応じた切れ目ない対応を行う体制づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠、出産から子育てまでの切れ目ない支援</li> <li>・市町村保健センターと県の各種センター、要対協、民生・児童委員、SSW等の連携体制</li> </ul> </li> <li>○子どもの居場所づくり など</li> </ul>

※ 子育て環境の充実には、併せて働き方改革が重要

# II 踏み込んだ実態調査

子ども・子育て家庭の生活実態について、定量的な調査を実施（H29年）した上で、子育て支援戦略や計画に反映。

例）家庭の世帯構成、所得、就労状況等の別による

- ・ 家庭の経済状況
  - 〔 食料・衣料を買えなかった経験  
公共料金を払えなかった経験 等 〕
- ・ 子どもの生活習慣、学習習慣、健康状態
- ・ 地域とのつながり など

定量的調査の結果イメージ

